

～あなたの思いを発表しよう～



『今、きずなをどうつくる』

子どもから、
高齢者の方まで
どなたでも
応募できます

提言募集!

「民間きずな国民会議」を開催します!

私たちは、誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりに向けて、一人ひとりが地域とつながり、助け合うことのできる社会参加の場を多くつくっていくことを目指しています。そのために必要な活動や政策についての提言を募集し、みんなで協議し、提言にまとめるために「民間きずな国民会議」を開催します。

【応募締切】

平成29年

10月20日金

郵送の場合は当日消印有効
Webの場合は当日中

【募集テーマ】「みんなで、助け合う地域を!」

私たちはどんな助け合いをすればいいでしょうか、
また、どんな環境や仕組みがあればいいでしょうか?

例えば、①「高齢者の社会参加を促す仕組み」

②「子どもたちが助け合いの楽しさを知る場づくり」

③「働いている人たちの地域参加を促す方策」

などが考えられます。

みんなで助け合う地域の実現に向けた、あなたの思いを
「民間きずな国民会議」で提言してみませんか?

「ぜひご応募
お待ちしております」

選考委員の方々



川淵
三郎氏



阿川
佐和子氏

写真: 伊木 功



渥美
由喜氏



村木
厚子氏



樋口
恵子



堀田
力

【提言】みなさまからお寄せいただいた提言は、**選考委員会**において選考し、ご本人から「民間きずな国民会議」で発表していただきます。

(選考結果は12月上旬をめどにお知らせします)

当日、国民会議で承認された提言は提言集としてまとめ、広く発信し、その実現に務めます。

*提言の発表をお願いする方々には、国民会議ご参加のための交通費・宿泊費を主催団体が負担いたします。

【選考委員会】

委員長: 川淵三郎氏(日本サッカー協会最高顧問)

選考委員: 阿川佐和子氏(作家・エッセイスト)

渥美由喜氏(ダイバーシティ・コンサルタント
兼務 東レ経営研究所 主席コンサルタント)

村木厚子氏(元厚生労働省 事務次官)

高齢社会NGO連携協議会共同代表

樋口恵子(高齢社会をよくする女性の会理事長)

堀田力(さわやか福祉財団会長)

詳しい
応募内容は
裏面を
参照

参加費
無料

『民間きずな国民会議』

平成30年**1月15日**(月) **イイノホール**(東京都千代田区)にて開催

11月13日から関連団体のHP、チラシなどにてご案内、ご参加の募集を開始します。(予定)

ご関心のある方は
ぜひご参加ください。
多くの方のご参加を
お待ちしております。

～あなたの思いを発表しよう～

『今、きずなをどうつくる』提言募集!

あなたの提言を、来年開催される
『民間きずな国民会議』で発表しましょう!

【応募条件】 子どもから、高齢者の方まで
どなたでも応募できます。

【応募方法】 郵送/Webどちらでも応募できます。

提言内容は **1200字程度** にまとめてください。

郵送での応募の場合は以下の必要事項を添えてご
応募ください。

【必要事項】 提言のタイトル

住所 氏名 年齢 性別

連絡先(電話番号・あればメールアドレス)

Webから応募の場合は、下記さわやか福祉財団内
の専用申し込みサイトから、応募シートに必要事項を
入力してお申し込みください。

【応募締切】 平成29年 **10月20日(金)**

*郵送の場合は当日消印有効、Webの場合は当日中

*選考結果は12月上旬をめどにお知らせします

【主催団体】 高齢社会NGO連携協議会
(事務局:さわやか福祉財団)

【後援団体】 あしなが育英会
にっぽん子育て応援団 など(予定)

【問い合わせ】

「民間きずな国民会議」事務局 あて

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館7階

さわやか福祉財団

「民間きずな国民会議」事務局 (担当:松浦、大坪)

TEL:03-5470-7751

FAX:03-5470-7755

*個人情報個人情報保護法に基づき主催者が適切に管理します。

*応募原稿の著作権は主催団体に属します。

*応募書類の返却はいたしません。

申し込みサイト → <http://sawayakazaidan.or.jp/kizuna/>

「高齢社会NGO連携協議会」(略称:高連協)とは

「すべての世代が生きがいのある生活を追求できる平和な社会」「年齢差別のない社会」の創造を目指し、運動の基本的指針となる「高齢者憲章」を制定、高齢者が意欲を持って社会参加できる機会を広げることを提唱しています。

みんなで、助け合う地域を!

一人ひとりが地域とつながり、
助け合うことのできる社会参加の場を

働いている
人たちの
地域参加を
促す方策

高齢者の
社会参加を
促す仕組み

子どもたちが
助け合いの
楽しさを知る
場づくり

安心して
暮らし
続けられる
地域

